

グラム

△重さの単位

グラム

(五)

○
一
〇
〇
〇
グラム
キログラム
グラム

キログラム

で
あ
る
。

クラヤミ

暗闇 (五)

40

○ ^{あかり}電燈が消^えれ^た。あたりは真の暗闇となつた。

○ シシ問先の暗闇で犬に吠えられ^た。

○ 暗闇を幸と人のものを併^せて行^く。

○ ^母に死なれ^ばせ^る中が暗闇になつた様です。

ツリアゲル
くりあげ
紹上り
子
（他部か下）

○二ヶ月の國語を一ヶ月目に繰上げよ

う。

○一ヶ月繰上げよ。

○おんくは繰上げて進上りさせよ。

○おんくは繰上げて進上りさせよ。

げてあげよ。

○都合により期日三日繰上げます

リリアワセル くりあはせよ [繰合はせよ] (池下)

。何とか繰合せよお出で下さい。

。万障お繰合せ御出席下さい。

。うまく繰合はせうまはりませう。

注意 在未定より合はす 注意があるが 殆どおくりす

の音の用いにくくある。

敬由 挨拶の場合は精通お繰合は

を分る用

クリイム
くりーむ

外表

(名)

一、牛乳のクリーム

二、化粧品のクリーム

三、アイスクリームの略

中、クリム

如、靴のクリーム。

①

ワリカエス　くりかへす　(繰返す)　(他、廿四)

○ 同じ事はくりを繰返すじゑぬ。

○ ~~繰返し又説明しす。~~

○ 再び繰返す事は困難です。

○ そんな事をしては、あの人の失敗を又繰返

す様かゝりぬ。

クリクリ

〔クリクリ〕

(副)

い肥えおろ様

○ 赤茶いほくりく 肥えおろ。

⇒ 丸い様

○ 鬼ほ くりくりした丸い 目を持つおろ。

○ くりくり 頭ま

△ 頭をすくこしおろこと。

○ 彼は人の批評などやしも苦にしない。
○ 物事をも一々苦にしたりするのまい事だ。

◎ 苦は樂の種

現在の苦しみの後の樂の種と云ふ。

クリコム 4リニむ 繰込む (他動マ四)

(一) 繰マする。

○ 豫備に繰込ませる。

(二) 繰込小子。

○ 一丁田は積立金に繰込ませた。

(三) 繰越す。

○ 積立金は来年度に繰込ませる。

(四) 変動の押し寄せる。

○ 皆さんお揃いでは正かりとちらへ
お繰込ませ

お祭りの行列が

○ 市街の各所繰込みに来た。

クリサゲル

クリサゲル

細下け

油が下

○ 課業修了と下け

○ 五月の予備金を下け
今期費子。

物賃を線下け

クリスマス

クリスマス

（名）

クリスマスの贈り物

クリカス

くりだす

繰出す

(他四)

(一) 繰など

○ 海 ^{なか} 余程深いと見えて 錨網を全部繰出し

たが 底へ届かたかた

(二) ^{彼の} 櫓 ~~を~~ ~~さ~~ ~~す~~ ~~て~~ ~~あ~~ ~~り~~

○ 繰出す櫓先は電光の如くであつた。

(三) ~~無~~ ~~人~~ ~~数~~ ~~を~~ ~~い~~ ~~そ~~

○ 敵は大軍を繰出した。 国境に集結した

○ さあ、これから繰出す。

○ 行列をくり出す。

クリノベ

クリノベ

〔繰延べ〕

名

○戦争の影響で事業は二年繰延べを余議議友

くされた。

○都合により会議は休用は繰延べに切りまわす。



ク
ル

来る

(自力変)

一
到る

○田舎から叔父が来た。

○反違が極ひに来てゐる。

○~~早く~~春が来るとソ。

○一雨来さうだ。

ニ原因する。

○この熱は風邪から来てゐる。

○~~ガ~~は英語の~~ガ~~から来てゐる。

三、来る。

1. 他の動詞に(一)の意を添へる

○皆が迎へて来て来た。

○帰りを来たに知らせて来た。

○こゝへ持て来て来た。

2. 「ゆるゆるになる」の意を表はす

○だん／＼かかると来るよ。

○大分仕事に慣れと来た。

○風も鎮まると来たやうです。

△丁寧語には「まゐる」敬語には「おそむになる」

「いらゆる」を用ゐる。

クル

くる

〔繰る〕

(他動う・回)

一)糸を框に巻く

○糸を繰る

二)順に送る

○繰上げる
○繰越す。

~~三)戸を繰る~~

○雨戸を繰る

三)本の紙など順に開いて調べる。
めくるに念

○本を繰る

○帳面を繰る

。夏と燥る。

年
。月日分と敷る。

。日を燥る

。暦を燥る。

由語の下「の」を「言」に改め、
「の」を「言」に改め、
「の」を「言」に改め、

。年をくつてみたら、八年前のものだった。

ノル

くま

削る

(四) (四)

丸木をくつて舟を作る。

注意 口語では並通 つしぐろ を用ふ。

○眼を削る。

○腹を削らる。

○肺を削る。

○栗の殻を削り落す。

クルシイ

苦しい (形)

○ 熱があるので苦しい。

○ 首がのけり 腹が痛むのが苦しい。

○ 子供は苦しい息の下から「わん」といって、お母さんといふ。

○ あんな苦しい思をしと事は無い。

○ 家の生活がだん／＼苦しくなつて来た。

○ 母親は苦しい生活の中、あつちへ来て、お母さんといふ。

○ ~~呼吸~~ ~~する~~ ~~のも~~ ~~苦~~ ~~しい~~

○ アウ 苦しいあつちから来た。仕事に苦しい。

○ 苦しい立場。

く
し
み
み

くるしみ

苦しみ

(名)

○生活の苦しみ。

○死の苦しみ。

○喜びと楽しみ。

~~のしきとあはれ~~

○世の苦しみをしらばい。

敬 (オ)

クルシム

苦しむ (自ら)

括 60

○病人は一晩中苦しむ。

○少しも苦しむ事なく手術は終つた。

○あの人は精神的に非常に苦しんでゐる。

○悪い事をすれば自分が苦まらなくてはなら

ない。

○子供が多いので生涯に苦しむ。

○説明に苦しむ。

○年長者

○苦しむ事はないと名作は出来ぬ。

ク
ル
シ
タル

〔苦しめる〕

〔他下〕

○人を苦しめる

○自分自身を苦しめる。

○印度は長い間「ギリ」スウ鳥に苦しめられた。

○鉄條網を張つて敵を苦しめるのに成功した。

67

クルマ

〔車〕〔名〕

○自動車には四つの車がついておます。

○この寝台は~~脚~~に車がついておる。

○水車は水によつて車がおはるのです。

○お車がおまわりまじせ。(自動車略)

○車をよぶ。車屋。(人力車 又を小をいふ人)

○車に野菜をつむ。(荷車)

~~ゆ車中~~

~~電車 荷車 中~~

○車を降りる

○車に乗る

ク
ル
い

く
る
む

(自む)

(他寫ス四)

○ 子供を蒲團にく
んび寝かす。

○ 杖の交點を指はくよんひ捨てる。

○ うまくくる子はいととけししまふ。

○ 紙でくるむ。

(195)

クルリ

ぐるり (副)

① 廻轉する様

○ 弟はくるりと背も向けるやさつさと歩き

出した。

○ ニ三歩いつてくるりと振り向いた。

○ 先生は一回をくるりと見廻した。

② 取巻く様

○ ^{生徒}は先生の周りをくるりと取巻んだ。

③ 変化する様

○ 舞台は今道畫の場面がつたのにくるりと

一変して夜となった。

平書。クルリ、くるりととして用心。

日本語教育振興會

ノ
ル
フ
ス
く
ま
は
す
狂
可
す
他
十
四

一 常態に失くす也

〇 氣を狂はす

一 合意の様を。 正確に失はす也。

〇 機械を狂はす。

〇 時計を狂はす。

〇 順序を狂はす。

〇 予定を狂はす也

〇 手筈を狂はす。

〇 計略を狂はす。

〇 相場を狂はす。

夕し くわ 暮 <small>ハタチ</small> 暮 (名)	○ 日の暮に暮した。	○ 日の暮すぎ。	○ 夕暮。	△ 夕暮は、 21がし しと 夕暮。	○ 年暮 ○ 暮かち 押し 自語った。	○ 終り	○ 夏の暮のこ とど あつた。	注意 ○ 以上文章語的 な言ひ 方 詭言業として 使。	あまり 用ひ ない。
--	------------	----------	-------	-----------------------------	------------------------------	------	-----------------------	--	------------------

ク
レ
グ
レ
モ
ク
レ
い
い
レ
カ
ト
レ
モ

○
ト
ハ
ハ
モ
ヨ
ソ
シ
ク
類
ハ
ナ
シ
ト

○
ト
ハ
ハ
モ
ヨ
ソ
シ
ク
類
ハ
ナ
シ
ト

○
ト
ハ
ハ
モ
ヨ
ソ
シ
ク
類
ハ
ナ
シ
ト

△
換
抄
語
と
し
て
多
く
用
が
い
る。

(
副
)



ク
シ
十
イ
く
れ
な
め

〇 紅の草

〇 紅に染する

〇 紅の血

紅

（名）

ク
レ
ル

〔呉れる〕

（他下二）

一、^{あなた}あなた（る）
○あの刀は祖父が私に呉れたものであす。

○あの犬は人が何かくれるのを待つてゐる。

○此の鳥は餌を呉れる人を覚えてゐる。

才意以上は、^アあなた（る）と^イと^ウす^エで呉れるの本来の

意義でそのまゝ用ひると例 次のは

呉れるが 用言としてこの本来の意味をうし

ふひ 他の動詞に一手助動詞の如く用ひ

二、^{あの人}あの人（は）
呉れる例

○親少しも面倒を見してくれない。

○もうがしはやつてくれともよささうぢ

○明日家へ来てくれないか。

○いんく片付けてくわ。

ク
レ
ル

ク
レ
ル

(暮れ)

(自う下)

(一) 日が没す

○ 甲^{今日}も暮れ^てしま^つて。

○ 日が暮れる

(二) 本月四季の終り

○ もう今年も暮れる。

○ 秋も暮れ^てしま^つて。 | 秋も暮れ^{よう}と^して^いふ。

(三) 心が迷ふ。眼が曇れる

○ 突然の出奔事^に心も^くれ^てしま^つた。

○ 途^へに^くれ^る。

○ 途^へに^くれ^る。

グ
レ
ル
い
れ
る

(白紙ラ下)

△常道を踏みはずす。日常の行動が普通で

なくする。何かは違ひこむ。

○あの人ばかりいじめる。まづ^下に^上業

~~まかりなりませうともしない。~~

○そんなおどかし考へ^ては駄目だ

ク口

○黒の靴

○布を
黒に染める。

○黒に染む

黒

色

ク
ロ
イ

○顔が黒い。

○魚が黒くしげな。

あま
ろ
い

黒い

(形)

ク ロ オ
く ら う

苦 勞 (名)

敬 (ゴ)

○ 苦勞をしただけあつてはかたかた五洲に出来

○ あつた何の苦勞もしらぬい。

○ 大變御苦勞を
御苦勞を
おかけし
まし
た。

○ 御苦勞様。

